

花々つうしん

医療法人社団医泉会

個別機能訓練をはじめます

3月1日より理学療法士を中心に、集団体操、日常生活動作を組み合わせた機能訓練をはじめました。

日常生活の中での目標を決め、ご利用者様、理学療法士、介護職が一緒になって取り組む機能訓練にしていききたいと思っています。



ホームページを開設しました

URL、QRコードは下記に掲載しています

遅ればせながらすみれ、すずらんをより多くの方に知っていただきたく、ホームページを開設しました。

事業所の概要や施設の紹介、ご利用要件などを掲載しています。

ぜひ、覗いてみてください。



すみれ・すずらんの空き状況(3/1現在)



お気軽にご相談ください!

すみれ	すずらん	△空き1名 ×いっぱいです					
登録空き状況	曜日	月	火	水	木	金	土
9	ご利用可能人数	△	△	△	△	△	△

※緊急ショートは別途ご相談ください

施設の概要や、活動の様子をお知らせしています。



看護多機能施設すみれ



<https://www.ne.jp/asahi/kantaki/sumire/kantakisumire.html>



デイサービスすずらん



<https://www.ne.jp/asahi/kantaki/sumire/deisuzuran.html>

小川医院

ケアプランセンター
いずみ

訪問看護ステーション
さくら

看護多機能施設
すみれ

デイサービス
すずらん

〒614-8366
八幡市男山泉2-1
電話 075-963-5790
FAX 075-963-5792

〒614-8366
八幡市男山泉2-2
電話 075-950-5322
FAX 075-950-3370

〒614-8085
八幡市八幡馬場38
電話 075-963-5793
FAX 075-963-5693

〒614-8085
八幡市八幡馬場38
電話 075-972-6122
FAX 075-972-6114

〒614-8085
八幡市八幡馬場38
電話 075-972-6123
FAX 075-972-6114

看護小規模多機能居宅介護支援事業所 としての2年間を振り返って

看護多機能施設すみれは、この三月で三年目を迎えました。

医療ニーズの高い方が地域で在宅療養をする拠点になる、という役割を担った看護多機能施設すみれ。

医療ニーズの高い方については、緊急ショートステイのご利用があり、一カ月に数件づつ続いています。ご利用の理由は、ご自宅で転倒されたり、病状が悪化して動けなくなり、介助の必要度が急に高くなったというものでした。

訪問診療と訪問看護の支援を受けて状態が安定し、ご自宅に帰られたり、施設に入所されたり、すみれの登録となり、継続して支援している方がいらっしやいます。

また、すみれで最期のときを過ごされる方の支援もありました。

コロナ禍で面会が難しい時期ではありましたが、裏口から直結する個室で、ご家族に見守られての最期を迎えていただくことができました。

今後どのような体制を整えていけるのかまだまだ手探りですが、地域の中で役割が果たせるように努めていきます。



内部評価・外部評価の結果報告

看護小規模多機能居宅介護支援事業所としての内部評価をし、外部評価をいただきましたので、ご報告します。

一、事業運営の評価

医療法人医泉会の理念「はじめましてからありがとうまで」を理解し、人材育成、組織体制をつくっているか、安全管理を徹底することができているかを振り返りました。

内部評価では、理念は概ね理解され、安全な運営を目指せているとの評価でした。

外部評価では理念の理解が深まる取り組み、災害時の対応の確認の必要性が提案されました。

二、サービス提供等の評価

看護、介護が協同して利用者様の状況を把握し、変化に迅速に対応することができているか、医療ニーズの高い方、看取りの対応ができていくか、地域包括ケアシステムを構築するための取り組みができていくか、を振り返りました。

内部評価では、独居の方も多く、ケア時間以外の状況を意識して今後関わっていく必要がある、施設のみですが看取りケアにも取り組んでいるこ

と、地域活動についてはコロナ禍の影響もあり取り組みなかつたとの評価でした。

外部評価では、二十四時間体制で連携され、対応できていること、在宅での医療ニーズに対応できる体制の充実の推進が必要、地域活動についてはコロナが落ち着いてからますますの推進を、との評価でした。

三、結果評価

内部評価では、計画目標が達成でき、安心感が提供できている。施設での看取りは実践できているとの評価でした。

外部評価は、サービスの導入から関係づくり、提供されるケアを通して安心感が得られているとの評価でした。

看護小規模多機能居宅介護の役割を改めて認識し、事業をすすめていきます。

